

# が ん ば

## 家庭教育の特徴

### 家庭教育ではなにをねらうか!!

#### よい子を育てるには……

11月22日 教育講演会より

性の態度には、男が女に、女が男に対する基本的な態度、つまり、どのように男女が接していくかをわからせることである。

①性の教育  
(性の知識はほんの一部門にすぎない)  
○幅の広い性の教育、性についての態度の教育でないればならぬ。学校教育でも知識の教育はやさしいが、態度の教育はむずかしい。知的だったらドリルの学習でたりる。ドリルだけやればやるほど態度は悪くなる。

性の訓練、男性をどのようにみるか。尊敬し、愛情をもって接する訓練をしていくことが性の教育である。  
(例)父の女狂い、酒飲みで帰ったら妻をぎゃくたいする家庭では、そこに育った子どもは、母の苦勞をみるなど、自分は結婚だけはしたくない、そういうながらその娘は、父親以上にだらしないう夫をもつことになった。男の甘言にひっかかってしまう。これは男をみる眼が培われていなかったのである。  
○ぐうたら母親↓男一女を見る眼が全然できていない。  
親は「かく生きていくんだぞ」といういのちをかけて打ち込む姿を身をもって示す以外にない。これが本当の性教育である。

②金銭教育  
学校では、算数・社会科で取扱うが、これは知的な場であり、やはり実践の場は家庭である。金銭については、喜びも悲しみもの裏づけが大切である。  
(例)テストの成績がよかったので千円、これは喜びの千円である。留守番を頼まれて千円渡され「井物をとって食べなさい。」は、留守の不安、心配などのために、子供にとっては悲しみの千円となることによる。  
このように、千円は千円と正しく感じることでできる子ども、お金は、だまっていってくるものだということになっては、何もならないのである。つまり金銭に対する感覚の教育をしなければならぬ。

③労働教育  
これは②と深い関係のある教育である。金をやらないと働かない教育をしてはならない。人間はたゞで働くことがあることを教え、奉仕の精神が、もともと大切だということを指導しなければならぬ。親自身が、奉仕の精神がわかっていない。親がたゞで働かない。

報行部 印刷所  
友部 印刷所  
小報 印刷所  
育報 印刷所  
会報 印刷所  
友部 印刷所  
小報 印刷所  
育報 印刷所  
会報 印刷所

### 子どもの成長と環境

教頭

園田秀利



一九二〇年の秋、印度で、狼の群の中で育ったであろうと思われる、二人の子どもが発見されました。見つけた時、大きい方が八才位、小さい方が一才半位と推定されました。この二人の子どもは当時、印度のカルカッタの近くで、孤児院を経営していた、アメリカ人の牧師でシングという人に取り上げられて育てられるのですが、森の中で、狼といっしょに、ホラ穴の中で生活するという、特異な生活環境で育ったこの子どもたちは、発見されたとき、まぎれもなく、人間の子でありながら、全然人間的な文化環境から隔絶された中で、生きてきたわけでありました。  
当然、同年令の子どもと比較して、比較にならないほどちがっており、昼間は何かオドオドして落ちつきがなく、動きまわるのも狼のように手と足を使って四つんばいのように、夜になると、元氣を出し時々狼のように、「ウオー」といいます。「ウオー」といいます。勿論言葉は全然通じませんし、食べ物も、赤い血のしたたる生肉を平気で食べるといった状態であったといわれます。この二人をシング牧師夫妻は、我が子のようにして、人間としての教育に取りかかるわけですが、狼的行動から人間的な行動生活を身につけさせるために――。  
その結果、年長のほうは、十才でようやく膝で立つことができるようになり、「マー」(夫人をよぶとき)「ブー」

ことを、をもって示さなければならぬ。いかなる時、サ(奉仕)が意味をもち、力をもつのかということをもつて体験させておかなければならない。  
このほか「家庭学習の問題」

など大変感銘深いお話が続きますが紙面の都合で割愛いたします。  
尚、当日のお話を録音してあります。町内などの集會にぜひご利用下さい。  
(教養部 文責 本多茂)



(水)の二語が話せるようになり、やがて両足で立って歩けるようになりました。十二才のころ、六つの単語が話せるようになり、二語を結びつけて、文章を話すことができるようになり、十五才ごろは三十の単語をおぼえ、十六才ごろ、着物を着れるようになります、ほめられると喜ぶ、情緒反応を表わすことができるようになりましたが、十七才で尿毒症で亡くなってしまいました。

年少の子は、二ヶ月で「プー」(水)を覚え、年長の子と比較して人間復帰が大変早かったという事です。惜しいことに年少の子は、発見されてから約一年ぐらいで亡くなっておりますので、もっと長く生きておれば、年長の子と比較して、どうであったか興味のあるところですが、この実例は私たちに、いろいろなことを教えてくれています。

狼そのものを、いくら教育しても、しよせん狼は狼であります。発見されたときは、まさに体つきは人間ですが、行為行動は、これ狼であったわけですが、シングル夫妻の愛と教育の力によって、人間に復帰することができたわけであります。

「孟母三遷の教え」ではありませんが、子どもが成長していくとき、その子どもをとりまく、環境が、どのように

子どもに働きかけているかを考えてみたいものです。

子どもが、家庭の中に生まれ、その中で生活し、成長する家庭という場が、文化を持っているという事は、子どもを育てる上に、大変重要な意義を持つておることであります。ひとりに環境といっても、物的環境と心的環境がありすが、ともすると、環境をよくすることは、子どもに物を与えることだけで、事足りりとする風潮がないでもありません。物は勿論必要ですが、物以上に、心の面の環境づくり(家庭における家族の人間関係)が最も大事だと思われます。人間的、愛情の交流が豊かに満ちている家庭、これが家庭としての本来の姿であり、このような家庭が、子どもを順調に成長させることができるといえます。

狼に育てられた子どもの事例は、文化的環境をはく奪された中で成長した事例でありまして、その結果がどうであったかは、十分ご理解いただけたいと思ひます。

現代は、かならずしも子どもにとつて、望ましい環境(とくに社会環境)ばかりではありません。私たちは、親としてこれらのものを取捨選択し、調整し、愛情と信頼のキズナをもつて、より豊かで望ましい環境づくりに努力していきたいものと思ひます。

# 家庭会議



副会長

森本定義



今年度の生活部が、とりあげている計画の中に「家庭会議の励行」があります。このことについては、過去の会議の席でも、夕食のひとときを利用して、親と子の話し合いの場を持つて見ては、と意見が出ていたように記憶しております。

ここで再び「家庭会議」について意見を述べて見たいと思ひます。

最近よく耳にすることで、親と子が話し合う機会が少なく、家族ぐるみの団樂の機会が乏しいなどの声があるようです。

家庭会議の場をもつことはただ親と子の問題だけではなく、家庭の平和を守るため、又ひいては、社会生活を営むうえにも、学校教育と併せ基

本的な問題ではなからうかと考えます。

子供が、だんだん大きくなるにつけ親を理屈で負かすようになり、親もそれに對抗出来なくて、悪くすると非行へと追い込む要素もあらうかと思ひます。

目に見える子供の成長のみに目を細めるばかりでなく、常に親と子が、ともに知識を啓発してゆく場として果す役割の大きい事は、疑の余地はないかと思ひます。

テーマの促え方としては、ここで申すまでもないことと思ひますが、日常の出来事、ラジオ、テレビ、新聞等の報道の中から自由に題材を選択し、自分の家庭に引き直して考えて見てはどうでしょう。

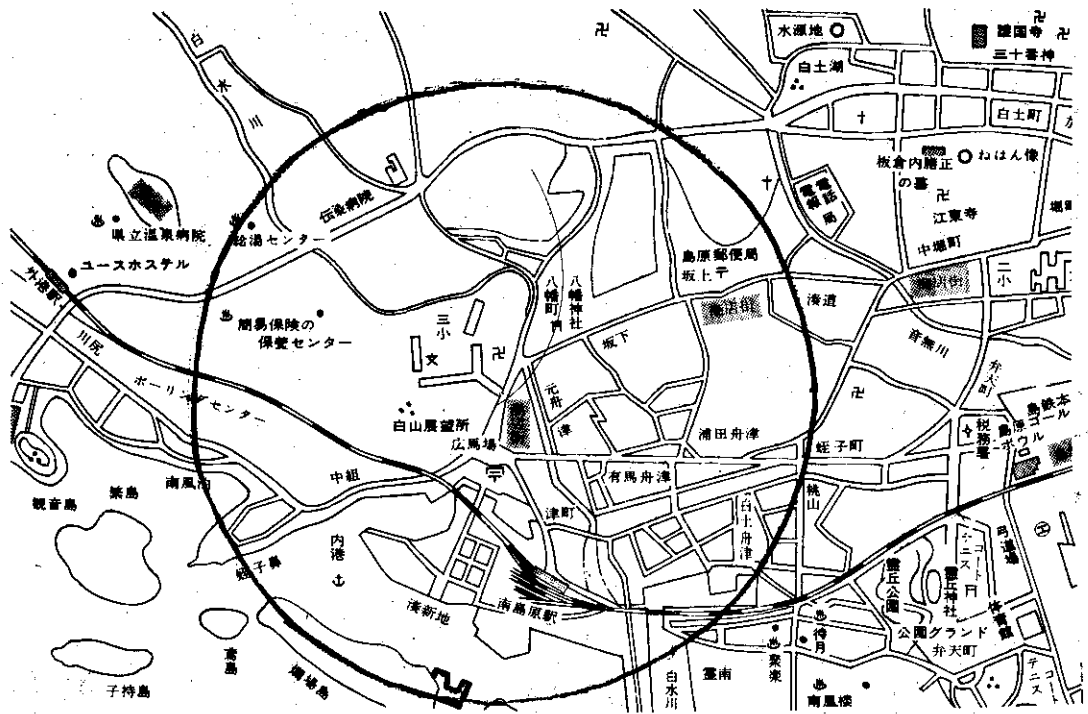
例えば、生々しい交通事故の悲惨な事例をテーマとして仮定したとき、どうしたら被害を受けずに、又防ぐことが出来るかなど簡単なことから、又はテレビの画面を追いながら、美

んなときには、「私ならこうする。」「僕ならこのようにしておく。」「とか「なる程こうすれば良かった。」など話し合いに創意工夫をすることによって、楽しい「家庭会議」にすることが出来るかと思ひます。

夕食の一家団樂の折に、又ちょっとした余暇を活用して「家庭会議」の場を設け、親と子の親近感を更に深め、断絶のない明るい家庭にしてゆかねばならないかと思ひます。



### 三小地区スクールゾーン指定



秋の交通安全運動でスクールゾーンに指定された本校地区では、交通規制の増設は別になく、交通指導の面に重点がおかれ実施された。本校を中心に500m半径内での歩行者保護については全面的なご協力を得、今更のようにスクールゾーンの重要性を痛感した。

今後とも、スクールゾーンに対する各運転者の立場、交通補導員の立場からご理解とご協力をお願い申し上げます。  
(島三小 交通部)

### 俳句の片言

かたごと

二年三組担任 島田常政

今年の四月本校に赴任した折、有友会の人たちから、「俳句の先生だ。」とよくいわれましたが、わたしは、その都度、「決してそんなものではないですね。唯、趣味を持っていますだけです。」と申し上げておきました。これも、ときどき島原新聞に掲載されるからかも知れません。でも、わたしはお金は要らないし、退屈せずに結構一人で楽しめるので、この道にはいつてよかったです。と思っています。

殊に旅行好きのわたしにはなお更のことですが、これも始めると次から次へと欲が出て来て、一生勉強に終始するものだと思われまふ。

わたしは、旅行すること、山を歩き廻って草木を採集すること、学校に職を奉じていることなどから、対象がしぜんそれらのことを詠むことになりまふ。

例をあげますと昨年は長野から富山、石川、福井と旅をし、今年には伊勢、志摩、南紀と巡り、コースにしたがい日記がわりに句を作りましたが、今年の旅行の句をあげて見ます。

七月二十九日  
伊勢より鳥羽へ  
○ 詣れば遷宮仕度伊勢の秋 (伊勢では来年が式年遷宮で、その仕度に多忙であったので。)

○ 鳥羽の秋路地にも栄螺匂ひいる  
七月三十日 鳥羽より勝浦へ

○ 三県に跨がる瀬の滝見茶屋 (勝八丁を観光船で上って) 那智に来て滝見の帰り硯買う

七月三十一日 勝浦から白浜へ  
○ 炎天や灯台の道遠かりし (この灯台は潮の岬灯台であります。)

八月一日 白浜より高野山へ  
○ 夏の旅紀伊路に淡路島見ゆる

○ 炎天や夏帽かぶせ高野馬車  
八月二日 高野山より大阪へ

○ 楠公の由緒の郷のさるすべり  
○ 伊勢訛り耳馴れ夏の旅おわる (伊勢より同行して来たバスガイドと大阪駅までの五日間で、すっかり伊勢ことばに馴染んだので。)

次に、学校の句を転校児について述べますと、

○ 遠足を明日に一郎転校す (明日が遠足というのに長崎へ転出した正一郎君のことでありまふ。)

○ 糞虫や転校の子の馴染薄 (二学期の始め、転入して来た子が運動会がすんでも馴染まないの。)

このほか例は沢山ありますが、要するに俳句は十七文字の中に、自分が言わんとすること、季語とが一つになら

### 苦言二題

生活部長 松本博

ていなければならぬし、しかも、やさしくて、わかり易く、余情のあるものでなければならぬといわれていました。この趣味は、元手はいらないし、しかも上品で、労力を伴わないし、一人で楽しめるし、老後には、うってつけの趣味だと思つています。これは「忙しから出来ない。」とか、「暇だから出来る。」ではありません。その時、その時の境遇にふさわしい句が出来るものと思ひます。

親も子も先生も、誰もが心配していたお天気も、うす曇りから、だんだん晴れ、さわやかな運動会日和、プログラムが進むにつれて観覧者もその数を増し、先生も子どもも育友会員も力をあわせて運動会をやっている姿は本当に美しく心づくよく感じられた。来年の、またその次の年の運動会をより有意義に、より楽しく実施出来るように企画運営内容等について、いろいろと反省がなされたことと思ふが、トラックやフィールドの競技演技だけでなく観覧者の後にも目をむけて反省する必要があるのでないだろうか。

○その一 売店と買い喰い  
普通の授業参観で子どもがほしがらるからといって授業中に買い喰いをさせる親があるだろうか。授業参観と運動会という特殊な行事の雰囲気では比較にならないかもしれないが、見に来ている保護者として運動会も子ども達にとって一種の学習であると考えては、一種の学習ではないだろうか。一つには売店が運動会場と校舎をへだてた校地内？にあ

るといふのも問題である。もし、売店を出しておられる方が三小区内で本号をお読みになる機会があったら来年度から出店を遠慮していただけないだろうか、これは私一人のお願ひである。

一番反省すべきは綿菓子屋にむらがつた子や、おもち等を買いに行つた子の親ではないだろうか。

○その二 たばこの吸いがら  
運動会も盛會裡に終り、掃除になつて驚いた。会場が紙くずで包囲されている。さいわい各町内のおとうさん、おかあさん方が進んで掃除をして下さったので、またたく間にきれいになつたが一番始末の悪いのは、たばこの吸いがらである。

植込みの中、溝の中、いたるところに散乱している紙くずは、訳もわからぬ子どもが散らしたかもしれないが、たばこの吸いがらとなるとこれはもう歴然としてゐる。

常識もちゃんとしてゐるおとな達のやつたことである。そこで提案、たばこのみは自分の吸うたばこはポケットに入れて来たから吸いが

### 年令物指

生活部副部長 本田武彦

らになつて大きさも何分の1かに小さくなつたし、それもポケットに入れて帰つてはどうか。私達はよく、頭がよいとか悪いという際には、たいていの場合、年令というものを一方に置いて考えます。

三才、四才の子供をつかまえて、お宅の坊ちゃんはお利口です。」といつたところで、何もその子供が大学生以上の知的能力を持つという意味ではないわけで、三、四才にしては利口だというにすぎません。

身体の場合でも同様で大きな子供だというのは力士より大きいという意味でなく、年にしては大きいという事であります。

体格検査をしますと体重何キロ、身長何メートル何センチという表が与えられます。しかし、これを見た親は子供が一体、大きい方なのか、小さな方か見当がつきません。それを理解するのは、もう一つ同じ年令の者の身長、体重の平均の表をもつて来て参照しなければわかりません。同じ年令の者の平均より下であれば、そこで始めて、この子供は小さいのだという事がわかるわけです。

しかし、いつも平均表がついていれば良いわけですが、

いつもそこにあるわけではありませぬ。

そこで年令物指というものを考えて見ました。即ちこの年令物指には何メートル何センチの目盛はついていません。その代り何才何ヶ月という目盛が入つております。

この目盛は簡単に出来ます。それは学校で体重、身長、平均表を見せてもらひ、各年令の平均身長をしらべ、例えば八才の子供の平均身長が百十三センチとしたら、百十三センチの場所に目盛を入れ、十二才の男児の平均体重が三〇キロあれば同じく三十キロの点に十二才と目盛をしておけば良いわけです。

このように改造された年令物指で測れば何センチ何キロが出ないで、体重何才、身長何才という値が出て来ます。そして、この物指の一番上に本人の名前と年令を書き込んでおけば親は一目瞭然に知る事が出来ます。

例えば年令が十三才で身長が一五〇センチなら背の大きい子供だという事がわかりますし、さらにその子供の体格は何才の体格に匹敵するかを

示しますし、一番便利な事はその子供の体格が何才まで、どの程度の早さで発育したかを知る事が出来ます。

そして、この年令物指には着物を裁つ時には役に立ちませんが、デパートで子供服等を買う時に役に立って来ます。子供服には、ほとんど年令が書き加えてありますので、本当年令は五才でも身長年令が七、八才用をすぐ選べるわけです。とても便利です。一度ためして見て下さい。

### 父・秋

下川尻 吉田 三郎

一、父去りぬ  
星空ながめ  
なみだ落ち

一、すず虫の  
秋来たりしと  
なきたけり



# が ん ば

(5)

## 家庭教育について

五年一組担任 梅林次生

学級でよく話題になるのは「しつけ(躾)」のことです。が、躾というもののほど、むずかしいものはないようです。それは、きびしい家庭だからとか、あまりやかましく言わないからとかで、きまる性質のものではないようです。

現に、話の中で、うちはきびしく言うのですがどうもとか、おたくのお子さんは大へん立派ですが、どのようになさっているのですか、と質問されても特別に何もありませんとおっしゃる。だから、いつも話題になりながら解決することもなく、からまわりしているような恰好です。躾というのを辞書で引いてみますと、礼儀・作法というものはどんな心の場合に生まれてくるものか、それは、日常の親の人生観なり、態度なりから、子供たちが学びとっていくものだと思います。他人の悪口を平気でいう家庭に、尊敬の念が生まれてくるはずはないからです。

日常ほとんど放任のような状態で、たまたましかってみたところで、ほとんど効果は

ないのではないのでしょうか。躾というのは、形だけの作法ではなく、心情の発露だと考えるならば、躾のなっていない子は、心の中までみずかされてしまいかねません。それだけに、年令を追って指導しなければならぬことだと思います。

もう一つ家庭で問題になるのは児童の性格・性質・能力など無視とまでいかなくてもあまりにも、親の要求をおしつけていないかということだと思います。

毎日の生活に追われ、日々子供と接する機会の少なくなりつつある家庭で、子供を理解しないまま、ただ金銭で欲求に答え、きびしくしているようで、実は放任に近いあまやかせをし、ただ親の要求を通そうとしていらだちを覚えていないかということだと思います。このことは、私にも言えることです。ただ隣の組とくらべて平均点が悪いと言ってはしかり、すぐ他人とくらべたがる。

これほど、その本人を傷つけることばありません。それは自分が他人とくらべられ

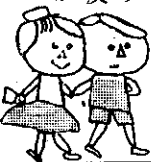
## 育友会のみなさん、ご苦労さまでした



(写真 専門部対抗リレー)

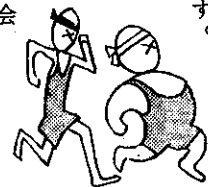
ると、こんないやなことはないからです。私も今にしてといてはおかしいですが、わかっているにもかかわらず言ってしまう自分です。

その子の特質を識り、その子にあった要求を出してやるべきだと思います。



## 体育行事の記録

\*\*\*\*\*  
この夏に行なわれた球技大会  
校内水泳大会の記録をお知らせします。  
\*\*\*\*\*



### 一、球技大会

(育友会生活部主催)

○期日 七月二十三日

(日)

○場所 霊丘公園

本校校庭

○種目

男子 ソフト  
女子 フットベースボール

男子A バート 下川尻南

B バート 湊新地

C バート 崩山

D バート 中組・蛭子鼻

女子A バート 坂上町

B バート 浦田上

C バート 中組・南風泊

蛭子鼻

D バート 霊南

二、校内水泳大会

(参加学年 四年以上)

○期日 九月十一日

(三小プール)

一位のみ

新は新記録の略

四年男25メートル自由型

松本 二(二〇秒六)

- 四年女 25メートル自由型 徳永直美 (二二秒〇)
- 五年男 25メートル自由型 中田博文 (一八秒四)
- 五年女 25メートル自由型 梅田恵子 (一七秒八)
- 六年男 25メートル自由型 松下剛 (一七秒〇)
- 六年女 25メートル自由型 本多加代子 (一九秒〇)
- 四年男 50メートル自由型 中村勇二 (四六秒五)
- 四年女 50メートル自由型 池永智奈美 (五五秒八)
- 五年男 50メートル自由型 中田博文 (三九秒四)
- 五年女 50メートル自由型 松尾佳子 (四六秒〇)
- 六年男 50メートル自由型 松下剛 (三九秒九)
- 六年女 50メートル自由型 福島葉子 (四二秒八)
- 四年男 25メートル平泳 浜田浩四郎 (二六秒六)
- 四年女 25メートル平泳 牧 美保 (三一秒一)
- 五年男 25メートル平泳 井上修 (二四秒六)

### 三姉妹

四年四組担任 本田ハルエ

三度目の何とかといいますが、みんなの期待に反して、またしても生まれてきたのは女の子でした。

月日のたつのは早いもので、その子も、はや幼稚園児となり、一家を笑いのうずまき

- 五年女 25メートル平泳 松下律子 (二八秒〇)
  - 六年男 25メートル平泳 岩永安弘 (二二秒五)
  - 六年女 25メートル平泳 諸田みどり (二七秒四)
  - 四年男 50メートル平泳 久保山欽市 (一分二秒)
  - 五年男 50メートル平泳 井上修 (五五秒九)
  - 六年男 50メートル平泳 岩永安弘 (五一秒〇)
  - 四、五、六年女 50メートル平泳 松本美由紀 (一分二〇秒六)
  - 四年 (一分二〇秒六)
  - 松下律子 (二分五秒〇)
  - 五年 諸田みどり (一分四秒一)
  - 六年 (一分四秒一)
- 学級対抗リレー
- 男子
- 四年五組 (二分三秒二)
  - 五年一組 (二分〇秒九)
  - 六年三組 (二分〇秒二)
- 女子
- 四年一組 (二分四七秒八)
  - 五年二組 (二分二六秒四)
  - 六年三組 (二分二七秒二)

こむ、ちゃめっ子と成長しました。

夕食後、みんなテレビドラマ「ありがたう」を見ていましたら、お産を喜ぶ御主人のシーンがありました。

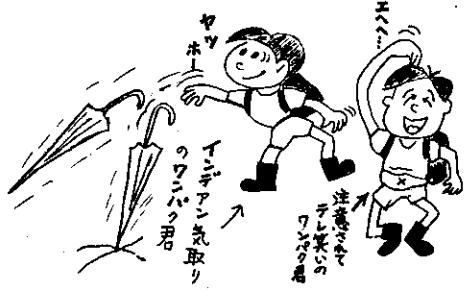
間一髪、三女、「おとうさんわたしが生まれた時も、あんなにパンザイをいって喜んだんだね。」といいました。予期してはなかったことなので主人も何と答えていいのやら。しばらくして、主人が「おとうさ、は、家について

### 雨ふり二題

崩山町 上田三郎

下校時の低学年に見うけられた風景。雨上りにヤリ投げをするワンバク君。ぬれるのも何のそのオテンバさん。子供達には雨も又遊び仲間、傘が傷むのを叱るべきか、此の創意をのばすべきか？

お母さん、あなたならどうする??



できなかつたけど、病院にいたおかあさんがしたよ。」といったので、みんな大笑いでした。

以前は主人ははじめてとして、みんな「祐子は体も大きくて元気者なので、この子が男の子だったらよかったのに。」とよくいったものです。

しかし、女の子、男の子と、うのは小さい時だけのことだと考えます。女の子ばかりなのが家にも、まもなく大きな男の子を得る日がやってくるでしょう。

### 小さな責任感



浦田町上 小沢ユキエ

母子家庭では、母親の勤めの為、どうしても家事に子供の協力が必要である。毎日のことながら、「五時半になると電気ガマのスイッチを入れといてね。」と私「解ってる。」と子供、朝、出勤前の言葉のやりとりです。

坂上 桑田フミ子

子供らと休みのたびに口げんかなだめすかせど、子はがんこなり

母の手の記にのこるにぎりめし

最近、タイムスイッチという便利なものがあるのに、一つ買っとくと気をもむこともないのにと皆さんが親切に教えて下さるが、一日の勤務を終え今日は御飯ができているだろうか、又今日は遊びに無中になつて忘れていたのではなにかと色々思いめぐらして帰る気持も悦なものです。又、私の姿を見るなり「あっスイッチ入れるの忘れてた。」と家へ走り込むだけでも子供に對して小さな責任感が芽ばえているのではないかと自分なりに解釈しています。子供の成長に多少なりともプラスになればと今日も一日の勤務を終え自転車のペダルをふむのである。

1班	11月1日～12月15日 坂上(中山春男)	→	12月16日～1月31日 坂下(宮崎幸一)		
2班	11月1日～12月15日 八幡(片岡清久・本田猛)	→	12月16日～1月31日 栄町(松本勝美)		
3班	11月1日～12月15日 桃山(本秀鈴子)	→	11月16日～1月31日 豊南(本田昭一郎)		
4班	11月1日～11月30日 蛭子町(熊本泰幸)	→	12月1日～1月6日 白土上(古瀬恵子)	→	1月7日～1月31日 白土下(原 一郎)
5班	11月1日～12月15日 浦田上(宮崎頭一)	→	12月16日～1月31日 浦田下(井上諭吉)		
6班	11月1日～11月30日 有馬船津(諸田良一)	→	12月1日～1月6日 津町(牧 国義)	→	1月7日～1月31日 元舟津(松下 肇)
7班	11月1日～11月30日 広馬場上(小林千代年)	→	12月1日～1月6日 広馬場下(片山義孝)	→	1月7日～1月31日 湊新地(高田喜三郎)
8班	11月1日～11月30日 中組(古瀬 帝)	→	12月1日～1月6日 蛭子鼻(唐見多美子)	→	1月7日～1月31日 南風泊(芥 孝夫)
9班	11月1日～11月30日 川尻(高見昭太郎)	→	12月1日～1月6日 下川尻北(奥村雄紀)	→	1月7日～1月31日 下川尻南(荒木 孝)
10班	11月1日～11月30日 新山西(松本鉄石)	→	12月1日～1月6日 新山東(吉田政春)	→	1月7日～1月31日 崩山(徳永 茂)

# 巡回文庫のお知らせ

第二回の青友会文庫を次のような日程と場所をお知らせしますので御利用下さい

## 白山

有馬船津 高木ミズエ  
なごりおしい白山ノ

私がこの学校に入學して来た時、学校の横に立って私をむかえてくれた。でも新しい町づくりのために消え行く白山。

春には、きらめく太陽の中で若葉がしげり、夏は緑々とした葉がささやいてくれた。秋は葉がみんな紅く燃えていた。冬は白い雪でおおわれてとってもすばらしい。

このように四季のかわり目を教えてくれた。その白山が、木がたおれ土地が平らになつて行く。このごろ見ると何もない。あんな自然の多い美しい山が消えた。通学するたびに白山山を思いだす。この学校を卒業して、私が一人前の社会人になつても広馬場を通るたびに思いだすでしょう。みなさんも自然のすばらしさを持つ白山を忘れないでほしい。



## 交通指導員の立場から 会員の皆様へお願い

蛭子鼻 山道 和子

自乗車の交差点の正しい通り方について

- (1) 信号機などによる交通整理の行なわれていない交差点に入る時は次のことに注意しましょう。
- (ア) 「一時停止」の標識のあるところでは一時停止をして安全を確かめなければなりません。
- (イ) 交通量の少ない所でもいきなり飛び出さないで安全を充分確かめ速度を落とし、狭い道路から広い道路に出る時は特に危険ですから、できるだけ一時停止をして安全を確かめましょう。
- (2) 左折するときは後方の安全を確かめ、早目に左折の合図(左側の方向指示器)を操作するか、右腕をひじから垂直に上にたてることを行ない、できるだけ道路の左端に沿って充分速度を落とし、横断中の歩行者の通行を妨げないように注意してまがらなければなりません。
- (3) 右折は次の方法です。
- (ア) 交通整理の行なわれていない交差点では後方の安全を確かめ、早目に右折の合図(右側の方向指示器)を操作するか、手のひらを下ににして右腕を横に水平に出すこと)を行い、でき



(運動会も見ないで奉仕する交通部長)

# 夏休み 作品展を見て

下川尻北 内嶋須美香

子供達をつれて夏休み作品展を見てかけた。作品のどれを見ても目をみはるような力作揃いに驚きの声をあげてしまった。その中に主人と長男(小三)の共同作品?である眼鏡橋も並んでいた。しかし...である。我が家ではあんなに立派に見えた眼鏡橋が会場では何と粗末で貧弱に見えた事か。毎年の事だが子供の宿題を親が手伝っているのか、それも親に子供がアドバイスしているのかわからぬような我が家の夏休み制作風景である。出来上がった作品は小三の子供の作品として出品するのは少し気がひけるほどの出来ばえだと思っていたのだが、他の作品の素晴らしさ。子供の手を煩わさず出来上がったであろうと思われ作品がずらり。でもそれは作品に真剣に取り組んでいる親の姿から子供は子供なりに何かを学んだらうから。その学びとった何かを土台にいつの日か自分自身の手で、大作をものにしてもらいたいと願う親心である。

# 百点万点の 父親

靈南町 高松ふさえ

親子の断絶とか対話がないとかよく私達耳にする言葉であります。青少年の非行と家庭教育とはどんな関係にあるのでしょうか。

私たちは「それぞれの子供のもてる能力を充分に発揮させその子供自身が正常に成長し社会の良き一員として生きていけるような人間に育てることを目的として家庭の側から努力していることではないでしょうか。

青少年非行の原因が家庭にあることが多いと言うことはその家庭の中で親子関係つまり親の子供に対する態度、子供が親に対する態度というような人間関係が円満に明るくつくりあげられていないという事ではないかと思えます。つい先日私の家で主人と娘がお互いに鼻をかんでもしたチリ紙をチョットはなれた層籠にちようど玉入れでもしているような恰好で「アッもうちょうとでストライクだ」

「アッ私のもだ、アッ残念だ」と大変楽しく遊んでいる様子を見て思わず私もうれしくなりました。私達の日常の身近かな所にもこんな立派な家庭教育の場があります。決してむずかしい事はありません。

時には馬鹿になって子供の世界にとけこんで見ることが必要ではないでしょうか。専門的なむずかしい事はわかりませんが、まずは子供の中に飛び込んでいく事が家庭教育の第一歩じゃないかと思えます。私の子供はよい父親を持って幸せだとほこりに思っております。



川尻 小柳キヨミ

あきぞらにはしる  
げんきにはしる  
こどもたち

坂上町 桑田節子

日やけた  
健康そうな  
子等の顔  
(海で日やけた子供らの顔もまっ黒になってしまった)

夏休み  
終わりに近く  
子と作工

(ながかった夏休みも終わりに近づいて、バタバタと子供と作品作りをする)

栄町 仲田満子

「お母さん行ってきます」と言って七時四十分になると家を出る小三の長男。その時きまって発する私の言葉「名札は、ハンカチ、ちり紙は」そしてもう一声、「悪いことしなさんなよ」。他家のお子様にくらべ何倍ものいたずらっ子。これはいけないと思ふと木剣片手にピンピンやる主人。夜になると毎日の反省として家族そろっての話し合いが始まります。主人がはじめに、「学校での授業態度はどうだったか。」「まあまあでした。」「と中一と小二の二人、つぎに「お友達にイタズラはしなかったか。」「この時は、いたずらっ子の長男も借りてきた猫の様に小さい声で「少しね」突然頭上で「バカ」と一声。「兄弟げんかか」「他家に迷惑はかけなかったか」と言う様に五つ程の反省をします。そんな時「僕達にばかりけんかするな」と言っ自分達もするくせ」とビシとやられます。子供達にばかりいい子であれと願う前に自分から反省しなくては心から思いう私です。昼間は子供のよき母として接する事のできない私たちから、この話し合いは出来る限り続けたいと思っております。

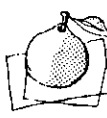
# 人間の きづな

有馬舟津 吉田扶美子

人間のきづな  
この言葉がフレッシュに感じるのはなぜだろう。断絶の時といわれる現代。この時代に人間のきづながどれだけ信じられるのだろうか。しかし人間のきづながなかったら人は生きていけないだろう。

人間のきづなとは  
もろいよう  
意外と強いのだろう  
それだからこそ  
人間のきづなを  
大切に育てていこう

# 編集 後記



この号は、先生方からの原稿も多く、皆様からも沢山の投稿をいただきました。内容豊富なものになりました。協力心から感謝しております。読みやすいようにと考えていますが、紙面の都合上、字数がたっぷりすぎましたことお詫びします。登載記事の外に、子どもの作文二題などありました。が、会報の性格上掲載を見合せましたのでご了承下さい。今年冬は寒い冬になるとか、健康に注意しお互い元気で過し